

## 令和6年6月定例記者会見 市長原稿要旨

まずはじめに、「新保健福祉施設内に設置する多世代交流センターの愛称募集」に関する情報提供です。

現在、市役所のそばに「(仮称)新保健福祉施設」を、令和7年4月のオープンに向け、建設を進めております。

この施設は、市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」でも政策の柱に掲げている、「健康」、「子育て」、「高齢者福祉」、「市民交流」の4つの機能を集約した施設であり、1階は健康・子育て・福祉に関する窓口、2階は主に健康診断等のサービスを提供する保健センター機能、3階は市民が様々な用途でご利用いただける空間「多世代交流センター」を整備します。

このたび、この「多世代交流センター」の愛称の募集を7月1日から開始いたします。

「多世代交流センター」は、年末年始の休館日を除き、開館時間が朝9時から夜9時まで、市民への貸館機能、民間事業者による講座・イベントの実施など、幅広い世代がそれぞれのライフスタイルに応じて活用いただくことを目的に整備する空間となります。

この施設が、子どもから高齢者まで様々な世代に、長く親しまれ、愛着をもっていただくために多くの皆様からの応募をお待ちしております。

次に、「非核平和推進事業の一環として行う中学生の被爆地への派遣事業」に関する情報提供です。

本市では、平成26年度から、非核平和推進事業の一環として、中学生を実際の被爆地や戦地に派遣し、平和祈念式典への参列や現地資料館の見学、被爆体験講話などを通じて、戦争の悲惨さや、人類が作り出してしまった原子爆弾という兵器の恐ろしさ、そして、平和の大切さについて、直に学んでもらう事業を行ってきました。

昨年度は、台風の影響により、やむを得ず中止となったため、今年は2年ぶりの派遣となります。今年度は、8月8日・木曜日から8月10日・土曜日までの3日間、長崎の地へ派遣します。

先日、5月31日・金曜日には、参加者同士の顔合わせや、派遣団長・副団長の選出を行い、派遣に向けた準備を進めているところです。

そして、7月13日・土曜日には本市の歴史民俗資料館にて開催される「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展」の見学などを行う予定となっております。

このパネル展では、原爆が投下された当時の広島・長崎の悲惨な光景を写真に収めた貴重な展示となっており、同じ悲劇を二度と繰り返さないためのメッセージが込められております。

その後、8月に開催される学習会を経たのち、長崎に向かう予定となっております。

これらの事業を通じて、被爆、戦争がどれだけ悲惨な出来事であったのかなどといった、教科書だけでは伝わらないことを体験し、学習していただき、平和のバトンを次の世代へ受け継いでいっていただきたいと思っております。

最後に、「市役所窓口時間の変更」に関する情報提供です。

龍ヶ崎市役所と一部の出先機関の窓口受付時間を本年10月1日から変更します。

現在、窓口受付時間は午前8時30分から午後5時15分となっておりますが、午前9時から午後5時に変更するものです。

変更となる対象施設は、市役所本庁舎をはじめとする4施設となっております。

受付時間変更の理由としては、「市民サービスの向上にむけ、事業の課題検討や改善などの職員の時間を確保」としてありますが、現在推進しております「書かない・待たない・行かないデジタル窓口」のさらなる普及にも努めていきたいと考えております。

なお、事前に行いました調査や、これまでのデジタル窓口の普及なども踏まえ、今回の変更に至ったものです。

窓口の時間短縮により、適切な職員の労務時間を確保することで、よりよい市民サービスの提供に向けた、さらなる取り組みを推進していきたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。